

県民の皆様への要請

警戒度 2	
外出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3密となるリスクが高い店舗や場所の利用は、十分に注意 ・ 高齢者等のハイリスク者は、十分に注意
他の都道府県への移動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要不急の移動は自粛 東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、愛知、島根、福岡、沖縄 (人口10万人当たりの感染者が多い都道府県)
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5,000人以下のものは開催可能 (国の方針を準用)

※引き続き、新しい生活様式の実践や接触確認アプリの利用を推奨

以下の事項について、ご協力をお願いします。

(1)外出について

- ・ 3つの密となるような感染リスクの高い店舗や場所の利用は、十分注意してください。
- ・ 高齢者や基礎疾患のある方などハイリスクの方は、十分な注意をお願いします。
- ・ 外出の際は「(4)新しい生活様式の実践について」に掲げる事項を厳守してください。

(2)県外への移動について

感染者数が人口10万人あたり10人以上の都道府県への不要不急の移動は、自粛をお願いします。(8/15～:東京都、大阪府、愛知県、島根県、福岡県及び沖縄県)

- ・ 関東地方で、感染者数が人口10万人あたり5人以上の都県への不要不急の移動は、自粛をお願いします。(8/15～:埼玉県、千葉県及び神奈川県)

(3)イベント等の開催、参加について

期間	コンサート、展示会 等		プロスポーツ等	地域の行事 (お祭り等)
	屋内	屋外		
8/1～	5,000人	5,000人	5,000人	特定の地域からの来場を見込み、 人数を管理できるものは可
	50%以内	十分な間隔	50%以内	

※1 上段は「人数上限」、下段は「収容率」を示す。

※2 「人数上限」と「収容率」はどちらか小さい方を限度とする。

※3 「十分な間隔」はできれば2mを確保する。

※4 全国的・広域的なお祭り・野外フェス等は延期または中止とするなど、慎重な対応を求める。

※5 屋外で座席等により位置が固定され、かつ収容定員の定めがある場合は、その半分程度以内とする。

※6 屋内で座席等により位置が固定されず、または収容定員の定めがない場合は、人と人との距離を十分確保する。

- イベントの開催にあたっては、[\(別表\)適切な感染防止対策例](#)を参考に、感染防止対策の徹底をお願いします。
- 全国的な移動を伴うイベント又はイベント参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催を予定する場合には、そのイベントの感染防止策等について県への事前相談をお願いします。詳細は下記ページをご確認ください。

県HPリンク：[全国的](#)

【社会経済活動再開のガイドライン「4段階の警戒度と行動基準」より】

区分	警戒度	状態	個人			事業者		【参考】 学校	
			外出	県外移動	イベント	休業等	勤務形態		
4	県内、都内ともに感染リスクが大きい	×	×	×	・遊技・遊興施設、文教施設等の休業要請 ・飲食店の時短営業 ・高齢者施設、病院等での面会は禁止	テレワークの推奨 (7割目標)	×	・登校なし ・部活自粛	
3	県内では感染リスクが抑制されているが都内では依然として感染リスクが高い	△	×	△	・3密となるハイリスク場所は不可 ・高齢者等のハイリスク者は不可	一部解除 ・高齢者施設、病院等での面会は禁止	テレワークの推奨 (5割目標)	×	・登校なし ・部活自粛
2	県内、都内ともに感染リスクが抑制されている	△	○	△	・3密となるハイリスク場所は不可 ・高齢者等のハイリスク者は不可	全面解除 ・高齢者施設、病院等での面会は禁止	テレワークの推奨 (3割目標)	△	・分散登校 (週2～3日) ・部活自粛
1	県内、都内ともに感染リスクが低い	○	○	○	全面解除	全面解除	テレワークの推奨	△→○	分散(週5) →通常登校



【要請内容の変更】

個人			事業者		【参考】 学校
外出	県外移動	イベント	休業等	勤務形態	
・3つの密となるリスクが高い店舗や場所の利用は十分に注意 ・高齢者等のハイリスク者の外出は、十分に注意	・感染者数が、人口10万人あたり10人以上の都道府県は自粛 ・関東地方で人口10万人あたり5人以上の都県は自粛	5,000人以下のものは可 (国の方針を準用)	・高齢者施設、病院等での直接面会は十分に注意	テレワークの推奨(3割目標)	通常登校を継続 ただし、感染状況等を踏まえ、必要に応じて、学校単位で分散登校等を実施